

平成 21・22 年度 土木学会 第 4 回複合構造委員会

議事録

1. 日 時：平成 23 年 2 月 9 日(水) 14:00～17:00
2. 場 所：土木学会 講堂
3. 出席者：三浦顧問，横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，石川委員(代理：近藤氏)，伊藤委員，上田委員，上平委員，大山(博)委員，街道委員，小林委員，齋藤委員，佐野委員(代理：加藤氏)，滝本委員，寺田委員，中島委員，中村委員，野村委員，三ツ木委員，吉田委員，池田幹事，大垣幹事，大山(理)幹事，島幹事，武知幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事，竹原事務局員
(敬称略，計 32 名)

4. 配布資料

- 委 4-0 平成21, 22年度 第4回 複合構造委員会 議事次第(案)
- 委 4-1 平成21, 22年度 第3回 複合構造委員会 議事録(案)
- 委 4-2 平成23, 24年度 土木学会複合構造委員会 次期委員長候補 選挙結果
- 委 4-3 平成22年度 複合構造委員会 予算執行状況
- 委 4-4 平成23年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書(案)
- 委 4-5 複合構造標準示方書 小委員会のまとめ
- 委 4-6 「第9回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」講演原稿募集
- 委 4-7-1 第7回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 委 4-7-2 第8回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 委 4-7-3 第9回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 委 4-7-4 第10回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)
- 委 4-8-1 平成21年度 調査研究委員会の活動度評価の結果について(報告)
- 委 4-8-2 平成22年度 活動度自己評価(中間)評価票
- 委 4-9 平成23年度 事業計画および予算要求調書
- 委 4-10 平成22年度 土木学会全国大会 報告
- 委 4-11 平成23年度 全国大会共通セッションテーマ申込み
- 委 4-12 出版関連報告
- 委 4-13-1 小委員会一覧
- 委 4-13-2 (H102) FRP歩道橋設計ガイドライン小委員会
- 委 4-13-3 (H103) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 委 4-13-4 (H206) 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会
- 委 4-13-5 (H207) 樹脂材料による複合技術研究小委員会
- 委 4-13-6 (H208) FRP複合構造研究小委員会
- 委 4-13-7 (H209) FRPによるコンクリート構造の補強設計小委員会
- 委 4-13-8 (H210) 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会

委 4-13-9 (H211) FRPと鋼の接合方法に関する調査研究小委員会

委 4-14-1 JIS B 1198(頭付きスタッド)改正の概要紹介

委 4-14-2 「鉄骨部材と鉄筋コンクリート部材が結合される接合部の設計法」講習会案内

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

横田委員長より、①複合構造標準示方書を発刊することができた、②小委員会の成果物(報告書)に対する査読システムを構築することができたなど、2年間の委員会活動を振り返りながら、開会の挨拶がなされた。

(2) 第3回 委員会議事録(案)の確認 (資料 委 4-1)

池田幹事より、2010年6月16日(水)に開催された第3回 複合構造委員会の議事録(案)の確認がなされ、承認された。

(3) 平成23,24年度 委員長選挙について (資料 委 4-2)

古市幹事長より、次期委員長候補：杉浦邦征氏(京都大学大学院)の信任投票の結果、有効投票数41票に対して、信任投票数が41票、不信任投票数が0票であったため、次期委員長候補として杉浦氏を理事会に推薦することになったとの報告がなされた。

【審議事項】

(4) 平成22年度 複合構造委員会予算執行状況 (資料 委 4-3)

古市幹事長より、平成22年度の委員会予算の執行状況および今後の執行予定について説明がなされ、承認された。

(5) 平成23年度 「重点研究課題(研究助成金)」申請 (資料 4-4)

西崎幹事より、平成23年度「重点研究課題(研究助成金)」(研究課題名：FRP 複合構造の設計・施工に関する基準の国際展開、代表研究者名：中村俊一教授)の申請書(案)について説明がなされた。主な研究内容は、以下のとおりである。

- ・「FRP 歩道橋設計・施工指針(案)」の英訳版の作成および配布
- ・建設分野におけるFRPに関するアジア太平洋国際会議2012(APFIS 2012)における発表
- ・FRP 複合構造に取り組む関係各国とのワークショップ開催
- ・海外の研究機関におけるFRP 複合構造に関する基準の作成状況調査、共同研究

説明の後、質疑応答がなされ、その主な内容は、以下のとおりである。

質問：研究期間は1年と短いので、「FRP 歩道橋設計・施工指針(案)」の英訳版作成は、工程上、厳しいのではないかと？

回答：研究期間終了後も、例えば、(H208) FRP 複合構造研究小委員会などで、引き続き、FRPに関する国際展開を行っていきたいと考えている。

質問：審査する側の立場となって申請書を見た際、旅費交通費が必要経費の9割を占めるのは？

回答：調査費に英訳版作成に伴い必要な経費を計上することを考えている。

コメント：重要な部分(エッセンス)だけでも良いので、是非、「FRP 歩道橋設計・施工指針(案)」について、国際会議(APFIS 2012)の場で発表を行って頂きたい。

なお、上記の内容を踏まえ、申請書を加筆修正した後、学会宛に提出する旨が了承された。

(6) 複合構造標準示方書 小委員会のまとめ (資料 委 4-5)

田中幹事より、複合構造標準示方書小委員会のまとめ(成果および今後の課題)について説明がなされた。

(7) 第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム (資料 委 4-6)

溝江幹事より、2011 年 11 月 10 日(木)と 11 日(金)に、日本建築学会と共催する「第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の概要について説明がなされた。

説明の後、質疑応答がなされ、その主な内容は、以下のとおりである。

質問：シンポジウムに投稿された原稿の中で、優秀なものを土木学会論文集の「特集号」に掲載することは考えていないのか？

回答：現時点では考えていない。まず、日本建築学会と相談の上、隔年ではなく、毎年、シンポジウムを開催することを考えている。そして、投稿数が増えるなど、さらに、盛り上がりを見せれば、「特集号」への掲載も視野に入れたいと思う。

コメント：日本建築学会主催で開催された前回(第 8 回)シンポジウムは、土木側からの参加者が少なかった。今回のシンポジウムでは、広報活動も積極的に行って頂きたい。

なお、開催期日、講演原稿募集要領などは、了承された。

【報告事項】

(8) 幹事会報告 (資料 委 4-7-1～4-7-4)

古市幹事長より、第 7 回～第 9 回 幹事会議事録ならびに第 10 回 幹事会議事録(案)について報告がなされた。

(9) 平成 21 年度 複合構造委員会活動度評価 (資料 4-8-1～4-8-2)

古市幹事長より、平成 21 年度 複合構造委員会活動度評価の結果について、評価項目Ⅰは「B」、評価項目Ⅱは「B」、評価項目Ⅲは「A」で、総合評価は「A」であったとの報告がなされた。また、JSCE 2010 の実施状況に関する部門ごとの自己評価(2010 年度)についても、併せて、報告がなされた。

(10) 平成 23 年度 事業計画および予算要求調書 (資料 委 4-9)

古市幹事長より、平成 23 年度 複合構造委員会の事業計画および予算要求調書について報告がなされた。

(11) 平成 22 年度 第 65 回年次学術講演会 (資料 委 4-10)

古市幹事長より、平成 22 年度 土木学会全国大会／第 65 回年次学術講演会について、共通セッション(CS-2：複合構造物)では 49 件の発表がなされ、研究討論会(題目：新形式複合構造物のその後)には、86 名の参加があった旨の報告がなされた。

(12) 平成 23 年度 第 66 回年次学術講演会／共通セッション (資料 委 4-11)

古市幹事長より、平成 23 年度 土木学会全国大会／第 66 回年次学術講演会における共通セッションタイトルとして「複合構造物」を申請した旨の報告がなされた。

(13) 出版関連報告 (資料 委 4-12)

武知幹事より、出版図書販売状況および今後の出版計画について報告がなされた。

(14) 小委員会活動報告 (資料 委 4-13-1, 4-13-3～4-13-9)

資料 委 4-13-1 に基づいて、各小委員会から活動報告がなされた。

① (H103) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会 (資料 委 4-13-3)

大山連絡幹事より、書籍の原稿は完成済みであるが、推敲を必要とする箇所が多々見られるため、発刊を 2011 年 3 月から 9 月に延期したい旨の申請書を出版委員会宛に提出したとの報告がなされた。

② (H206) 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (資料 委 4-13-4)

中島小委員会委員長より、本小委員会の成果として、「ずれ止め(スタッド)の標準試験方法(案)」を策定するとともに、建築分野も含めて広く議論することを目的として、「第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の場で討論会を開催することを計画しているとの報告がなされた。

③ (H207) 樹脂材料による複合技術研究小委員会 (資料 委 4-13-5)

上田小委員会委員長より、現地調査や各委員からの話題提供を終え、報告書(複合構造シリーズとして発刊予定)作成を行い始めたとの報告がなされた。

④ (H208) FRP 複合構造研究小委員会 (資料 委 4-13-6)

西崎連絡幹事より、2010 年 6 月から、これまでに 4 回の小委員会を開催し、委員間における情報の共有化に努めているとの報告がなされた。

⑤ (H209) FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会 (資料 委 4-13-7)

山口連絡幹事より、H208 小委員会同様、2010 年 6 月から、これまでに 4 回の小委員会を開催し、委員間での情報の共有化を図っている旨の報告がなされた。

⑥ (H210) 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 (資料 委 4-13-8)

溝江連絡幹事より、小委員会の構成は、委員長、幹事長ならびに委員併せて 13 名となり、2011 年 2 月 8 日に第 1 回目の小委員会を開催し、主に、活動の方向性について議論を交わしたとの報告がなされた。

報告の後、質疑応答がなされ、その主な内容は、以下のとおりである。

質問：複合構造、そして、防水システムも多種多様化しているが、どのように小委員会活動を行っていくのか、もう少し具体的に教えて欲しい？

回答：まず、構造を 1 つに限定し、橋面防水から検討を行い始める予定である。なお、当小委員会の活動において、新しい防水システムを構築することまでは考えていない。

質問：活動内容に、「諸外国の資料を収集し、…」と書いてあるが、どのレベルまで収集可能であるのか？

回答：現時点では、各委員が所有している海外の資料を持ち寄って、議論を行うことを考えている。

⑦ (H211) FRP と鋼の接合方法に関する調査研究小委員会 (資料 委 4-13-9)

大垣連絡幹事より、小委員会の構成は、委員長、幹事長ならびに委員併せて 29 名となり、2011 年 1 月 24 日に第 1 回目の小委員会を開催し、趣旨説明および活動方針について議論を交わした旨の報告がなされた。

(15) JIS B 1198(頭付きスタッド)改正の概要紹介 (資料 委 4-14-1)

中島委員より、2011 年 2 月中旬に公示される「JIS B 1198(頭付きスタッド)」の改正について、報告がなされた。

主な改正点は、以下のとおりである。

- ・スタッド軸径の追加
- ・形状・寸法の変更
- ・引張試験片の変更
- ・スタッド溶接後の性能を確認するための試験

報告の後、質疑応答がなされ、その主な内容は、以下のとおりである。

質問：ISO 規格の改正案で、日本では、SD 1～SD 3 の内、どれを用いるのか？

回答：日本では、SD 2 を用いることになっている。

(16) 「鉄骨部材と鉄筋コンクリート部材が結合される接合部の設計法」講習会 (資料 委 4-14-2)

古市幹事長より、日本建築学会主催の「鉄骨部材と鉄筋コンクリート部材が結合される接合部の設計法」講習会開催について報告がなされた。

(17) 「(H102) FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会」の終了報告 (資料 4-13-2)

中村委員長より、Power Point を用いて、FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会の活動終了報告がなされた。

(18) 閉会の挨拶

杉浦副委員長より閉会の挨拶がなされた。

以 上
(記録・文責：大山 理)